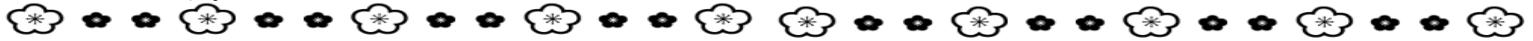


ひばいぐみだより 2月

令和6年2月26日(月)

津田このみ学園

今年度も残すところ約1カ月となりました。少し寂しさを感じながらも、就学や進級を楽しみにしている子どもたち。感染症に気を付けながら、残りのクラスでの時間を元気いっぱいにご過ごしていきたいと思っています。



石川県は、今どうなっているの？

1月1日に石川県で大きな地震がありました。子ども達と地震について考える機会がある中、Aさんのお父さんがお仕事で支援に行かれることが分かり、みんなでインタビューさせていただくことになりました。インタビューに向け、5歳児は質問したいことを考えたり、3、4歳児はカメラやマイクを作って準備しました。

《インタビューで分かったこと》

- ・ご飯は、レトルトカレーやカップヌードルを食べていた。
- ・マンホールの下から水が噴き出し、その水が凍ってマリオの土管のようになっていた。
- ・石川県では、片付けやご飯を配るお手伝いをした。
- ・被災した人は、寒い体育館や公民館で暮らしている。
- ・家の中がぐちゃぐちゃで片付けが大変。
- ・水が出ず、お風呂に入れないので、濡れたタオルで体を拭いていた。
- ・5階建てのビルが倒れていた。



《みんなにもできること》

- ・避難訓練をしっかりとする。
- ・石川県の人にメッセージを送る。

後日、津田公園で防災倉庫を発見！！



倉庫の中にはダンボールがいっぱい！後から調べてみると、簡易トイレ、毛布、食料などが入っていることが分かりました。

インタビューを受けて、5歳児が中心となり、新聞を作りました。また、ご覧ください。



園でも、避難訓練に真剣に取り組む子ども達。地震が来たらどうすればいいか、津波が来たらどこに逃げるかなど、子ども達もよく考えています。ご家庭でも、災害にあったときどうすればよいかなど子ども達とお話してみてください。私たちにできることを考え、みんなで楽しく過ごしている今に感謝しながら毎日の生活を楽しみたいと思います。

ぼくの、わたしの、オリジナル絵本♪

「どんな絵本にしようかな～」と、絵を描いていき、ストーリーも自分たちで考えています。「図書館にしよう～」と手作り本棚を作成。一人一人の個性が出ていて、とても面白い！つつい笑ってしまいます♪子ども達の発想にびっくり！天才的な絵本作家がいっぱいです！

